

ソバの湿害軽減とアズキ・ゴマの省力除草

畑作物生産の湿害・雑草害対策技術



ソバの湿害が発生している地域において、**湿害対策を実施することで収量が向上することを実証**するとともに、**湿害リスク診断法を開発**しました。また、**アズキ・ゴマの省力的除草体系をマニュアル化**しました。

これにより、**ソバの食料自給率の向上**や**アズキやゴマの栽培労働時間の削減**が期待されます。

研究背景

ソバ・アズキ・ゴマ等の畑作物への実需者ニーズが高まっているなかで、安定生産のためには、多様なソバ栽培環境に適した湿害対策、アズキやゴマの栽培における除草作業の省力化が課題です。

このため、これら畑作物の湿害・雑草害対策技術の開発・実証に取り組みました。



湿害リスクのあるソバほ場



湿害リスクの軽減



湿害対策技術（畝立同時は種）



アズキ栽培におけるホー除草



除草作業の省力化



雑草害対策技術（多機能カルチベーター）

研究代表機関

農研機構

プロジェクト名

畑作物生産の安定・省力化に向けた湿害、雑草害対策技術の開発

研究期間

令和元年度～
令和5年度

共同研究機関：（株）そば研、（株）バイオファーム、井関農機（株）、全国蕎麦製粉協同組合、北海道立総合研究機構、北海道空知農業改良普及センター、島根県東部農林水産振興センター、三重県農業研究所、三重県中央農業改良普及センター、宇都宮大学

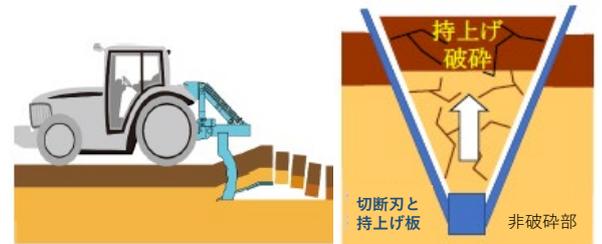
主要な成果

1

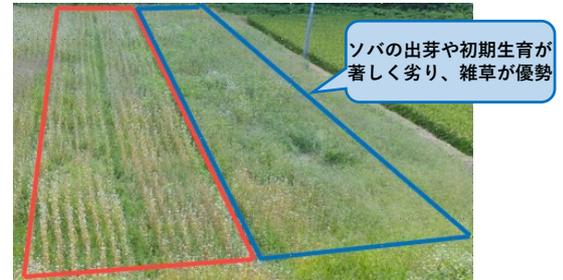
ソバの効果的な湿害対策技術を実証

- カットシ리즈*による土壌物理性改善
- 畝立同時は種による出芽前後の湿害予防
- 亜リン酸液肥の葉面散布による湿害軽減

※ カットブレーカーによる心土破碎やカットドレーンによる補助暗渠などの排水改良技術



カットブレーカー（全層心土破碎）（農研機構,2020）



登熟期のほ場の比較（赤枠内：畝立、青枠内：平畝）

慣行栽培と比較して、
ソバの収量が2割以上向上

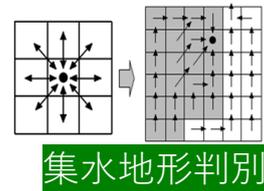
2

ソバの地理情報データを蓄積・解析し、湿害リスク診断法を開発

適地適作や湿害リスク診断結果に基づく対策を実施することで、ソバの収量向上が期待



湿害リスク診断結果のイメージ
(湿害リスクの程度を色分けして地図上に表示)

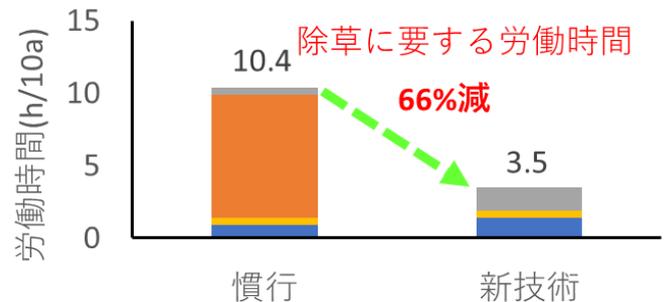


湿害リスク診断法に活用するデータ

3

アズキ・ゴマの省力的除草体系を確立し、マニュアルを作成

アズキ・ゴマの除草に要する労働時間を2割以上削減



■ 中耕除草 ■ 培土 ■ ホー除草 ■ 手取り除草

寒地アズキにおける新技術除草体系
(除草剤+多機能カルチベーター)
の労働時間削減効果

農研機構 遺伝資源研究センター
(アズキとゴマの湿害・雑草対策マニュアル)

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/163155.html

